

住みよい環境づくりを目指します

エコアクション21 環境活動レポート
活動期間(2013年4月1日～2014年3月31日)
2014年11月1日発行



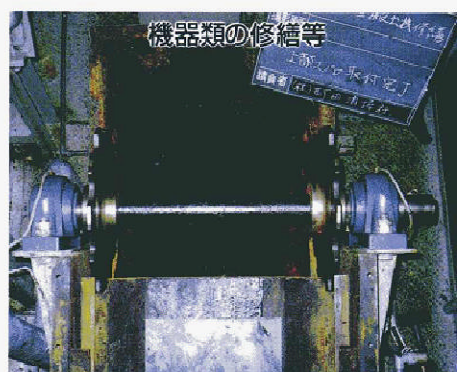
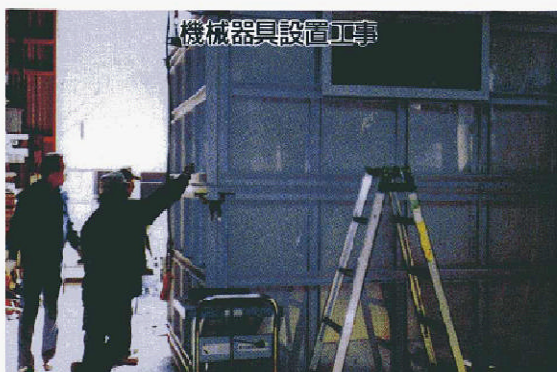
生活環境の向上を目指す

㊦ 株式会社 町田清掃社

〒194-0036 東京都町田市木曾東二丁目6番18号

☎042-722-1973(代表)

作業説明



目次	頁
1. 環境方針	1
2. 環境活動指針	1
3. 事業概要	2
4. 環境活動実施体制	3
5. 許可・登録一覧表	4
6. 廃棄物収集運搬量	4
7. 廃棄物処理料金	4
8. 保有車輛リスト	5
9. 環境負荷グラフ	6
10. 環境目標	8
11. 活動写真	1 2
12. 環境活動の計画・評価・次年度取組	1 3
13. 代表者による全体の評価・見直し	1 4
14. 環境関連法規への違反訴訟等の有無	1 5

1) 環境方針

昭和41年6月創立以来、一般廃棄物の収集運搬を中心として、「生活環境の向上」を目指し、また近年は、廃棄物の有効利用やリサイクル等、環境問題に対応すべく、業務の整備を図って参りました。

しかし、今や環境問題は、わが国のみならず、地球的規模で未来に向けての最大のテーマになっています。

弊社は、環境行政事業に携わる者の使命として、事業活動において、法規制を遵守するとともに、積極的に環境保全活動に取り組むことを全従業員に周知し、一人一人が自主的かつ継続的に、環境負荷の低減に向けた活動を行なって参ります。

2) 環境活動指針

1. 省エネルギーの推進

東日本大震災の影響で、電気の供給能力が不足することから、徹底した節電の取組を重視する。
節水の取組み、またエコドライブの実践による排気ガスの抑制をはじめ、すべての事業活動において、CO₂排出量を低減することにより、大気汚染の防止・地球温暖化の防止等に貢献できる環境活動を推進する。

2. 廃棄物の削減及び再利用の促進

自社及び現場から発生する廃棄物の抑制と分別による再利用化の徹底に努め、可燃ごみの減少・再資源再利用化等に貢献できる環境活動を推進する。

3. 環境に配慮したサービスの推進

グリーン購入を推進する。また、収集運搬業及び建設業、清掃業をはじめ、すべての事業において、悪臭の防止・騒音の防止等、環境に配慮したサービスを推進する。

4. 法規制等の遵守

環境関連法規制をはじめ、事業に関連する全ての法規制および契約事項を遵守する。

5. 継続的な環境負荷の削減

環境負荷の削減を継続的に行ない、持続可能な社会の実現に向けた環境活動を推進する。

平成25年6月1日

東京都町田市木曽東二丁目6番18号

株式会社 町田清掃社

代表取締役

菅原久仁夫

3) 事業概要

事業者名：株式会社 町田清掃社
所在地：東京都町田市木曾東二丁目6番18号
設立：昭和41年6月1日
資本金：1460万円
代表者名：代表取締役 菅原久仁夫
環境責任者：下水道施設管理部 課長 永田 利洋
連絡先：Tel042-722-1973 Fax042-727-8634
e-mail nagaka@matisei.co.jp
事業内容：収集業部門（一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬）
工事部門（土木一式・管・機械器具設置・水道施設）
清掃部門（道路関係・排水管渠・飲料水貯水槽）
管理部門（汚水処理施設・浄化槽保守点検）
工業薬品販売部門（脱臭剤等）
特定労働者派遣業

【主な事業実績】 2013年4月～2014年3月実績

- ◆収集運搬部門（一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬 売上約179百万）
 - 一般廃棄物収集運搬
 - し尿・浄化槽汚泥・一般可燃ごみ 20736 t
 - 産業廃棄物収集運搬 85 t
- ◆工事・清掃・浄化槽保守部門 売上約377百万
 - 建設業 47件
 - 清掃業 228件
- ◆工業薬品販売部門 売上約93百万
- ◆サービス業（汚水処理施設管理・特定労働者派遣業） 売上約758百万
- ◆全社（売上約1536百万）

全従業員数：123名（2014年10月現在）

本社延べ床面積：912㎡

【認証登録している事業場】

本社（東京都町田市木曾東二丁目6番18号）

- ◆以下の町田市公共施設内業務においては、市運営下のため、主管的な環境経営の取組は出来ないが、環境法規制遵守及び移動用車両の燃料使用量削減、コピー用紙使用量削減については、当社環境活動の範囲として組み込んでいる。その他の要求事項に関しても、市運営のもと、監視・測定を行い、環境活動に取り組んでいる。

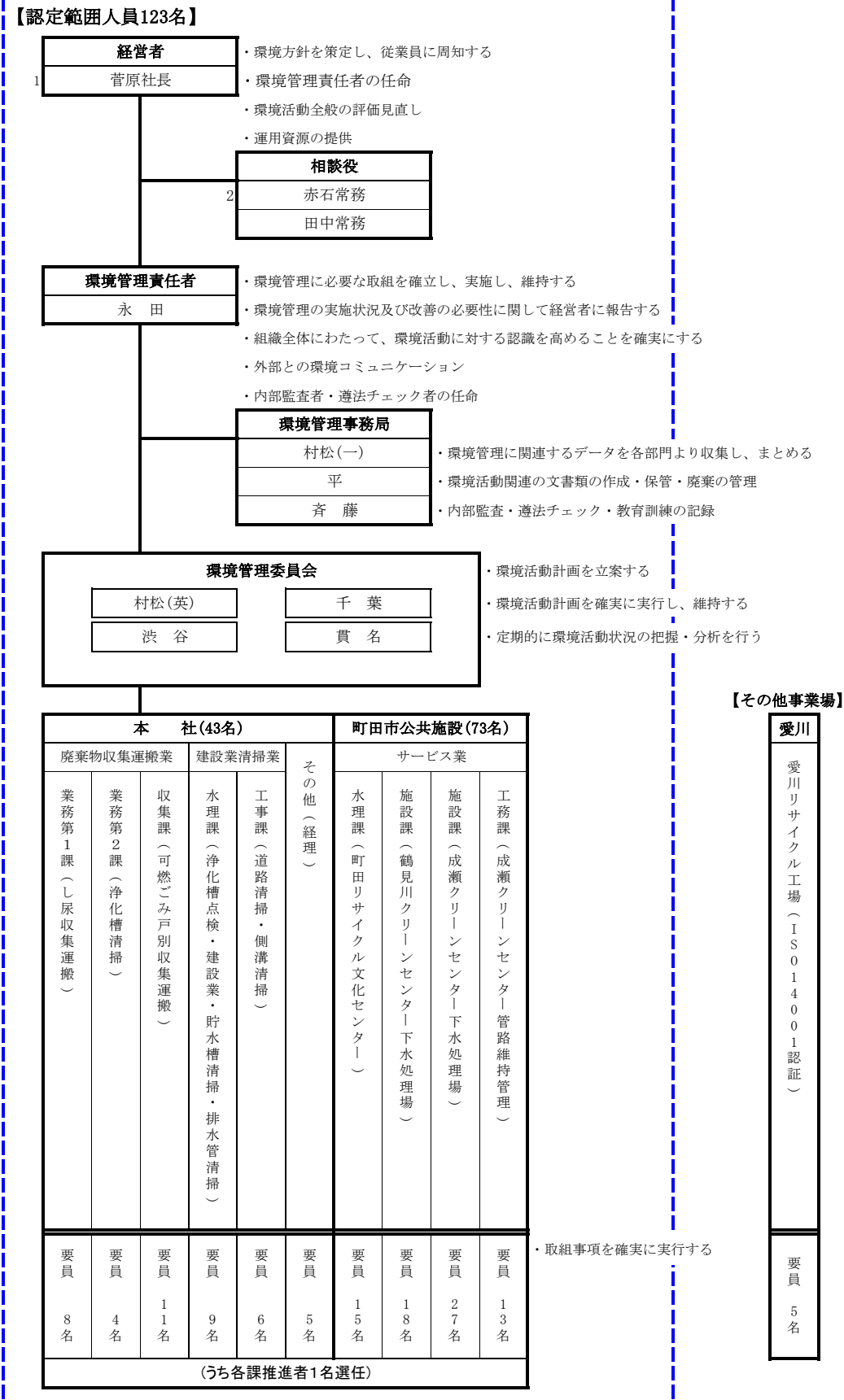
： 成瀬クリーンセンター下水処理場	東京都町田市南成瀬8-1-1
： 鶴見川クリーンセンター下水処理場	東京都町田市三輪緑山1-1
： 町田リサイクル文化センター	東京都町田市下小山田町3160

【対象範囲から除外している事業場】

愛川リサイクル工場（神奈川県愛甲郡愛川町中津6903-1）
共同事業による生ゴミ堆肥化工場で、ISO14001認証により環境活動に取り組んでいる。

4) 25年度 環境活動実施体制図

平成26年10月31日現在



5) 許可・登録一覧表

平成26年6月25日現在

許可	許可番号	許可日	許可有効期限	収集廃棄物種類
一般廃棄物処理業(収集運搬)	町田市一廃第27号	平成26年04月01日	平成28年03月31日	紙類・厨芥類・繊維くず・木くず・し尿・浄化槽等汚泥・デイスボーター汚泥・特定家庭用機器廃棄物
産業廃棄物収集運搬業	東京都第13-00-37650号	平成23年04月04日	平成28年04月03日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県第01402037650号	平成23年05月20日	平成28年04月23日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県第01101037650号	平成23年02月03日	平成27年12月12日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
町田市浄化槽清掃業	清掃第2号	平成26年04月01日	平成28年03月31日	
浄化槽保守点検業者	東京都浄保(8)第56号	平成24年12月23日	平成29年12月22日	
浄化槽保守点検業者	町浄保(1)第24号	平成24年12月23日	平成29年12月22日	
浄化槽保守点検業者	八王子市八浄保第19-50号	平成24年12月23日	平成29年12月22日	
一般建設業(管工事)	東京都(般-23)第136962号	平成23年07月20日	平成28年07月19日	
建築物飲料水貯水槽清掃業	東京都56貯第119号	平成23年06月19日	平成29年06月18日	
建築物排水管清掃業	東京都15排第37号	平成21年02月09日	平成27年02月23日	
毒物劇物(一般)販売業	町田市第3132000081号	平成24年10月15日	平成30年10月14日	
指定給水装置工事事業者	東京都 第8497号	平成23年10月25日		
指定給水装置工事事業者	武蔵野市 第432号	平成25年12月29日		
指定給水装置工事事業者	昭島市 第366号	平成25年12月24日		
指定給水装置工事事業者	羽村市 第208号	平成26年1月20日		
指定給水装置工事事業者	檜原村 檜簡水指第40号	平成26年6月25日		
指定作業場所設置 (廃棄物の積替え場所又は保管場所、ガソリンスタンド、自動車洗車場)	町田市第1457号	平成21年10月06日		

6) 廃棄物収集運搬量

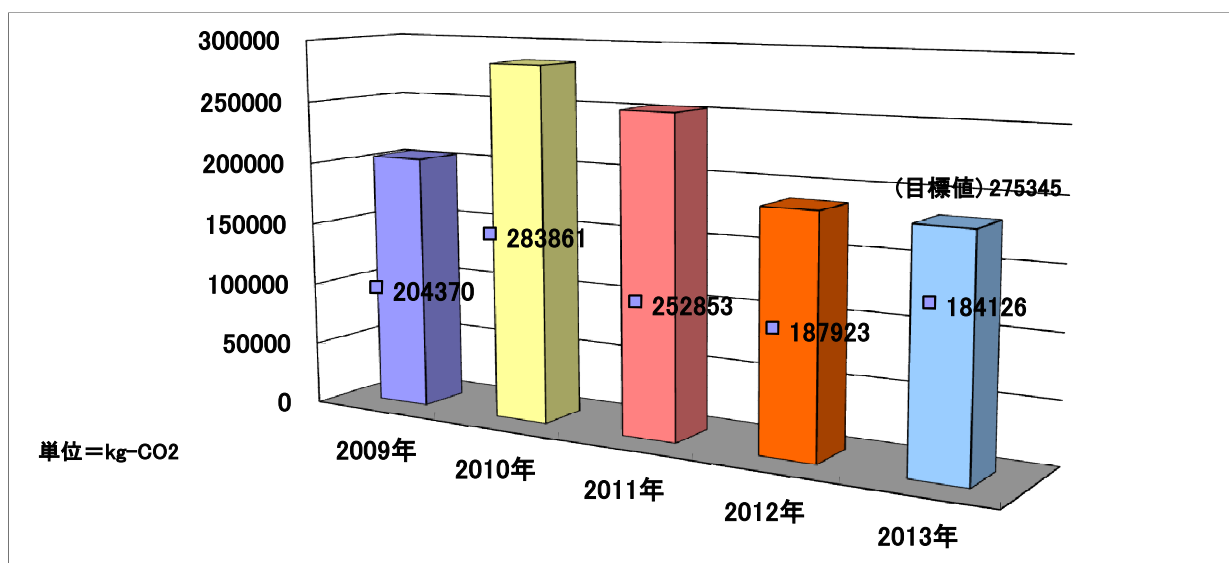
区分	種類	2009年度(t)	2010年度(t)	2011年度(t)	2012年度(t)	2013年度(t)
一般廃棄物	し尿、浄化槽汚泥、一般家庭ごみ	19976	27909	26477	24176	20736
産業廃棄物	汚泥、金属くず、廃プラ、ガラス等	1035	1598	1380	1455	1149

7) 廃棄物処理料金

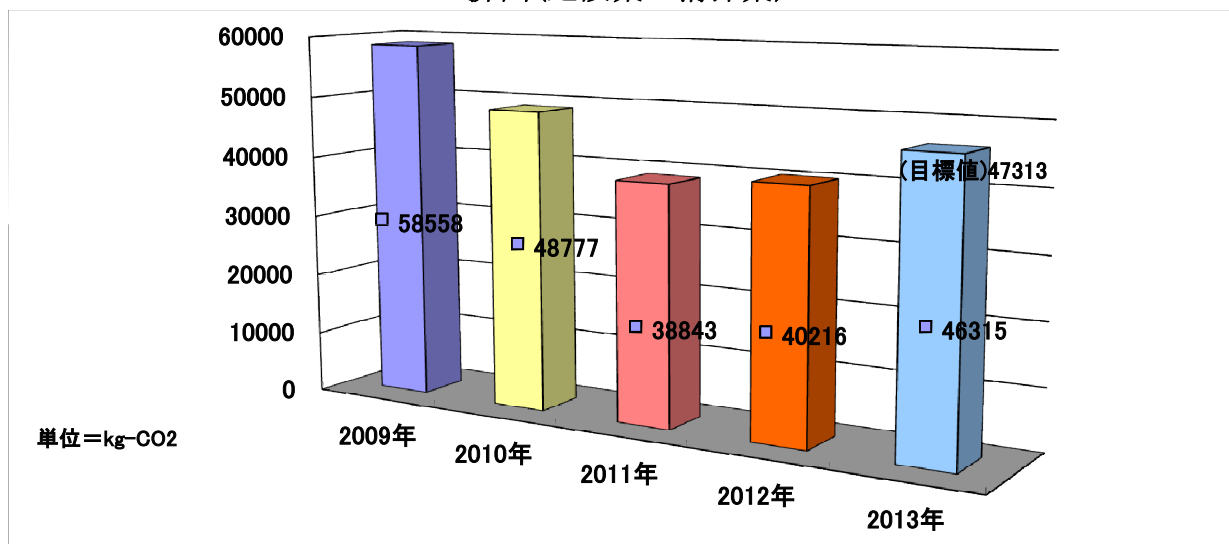
取扱品目、運搬距離等を勘案して、無料にてお見積り致します。

9)【環境負荷実績】

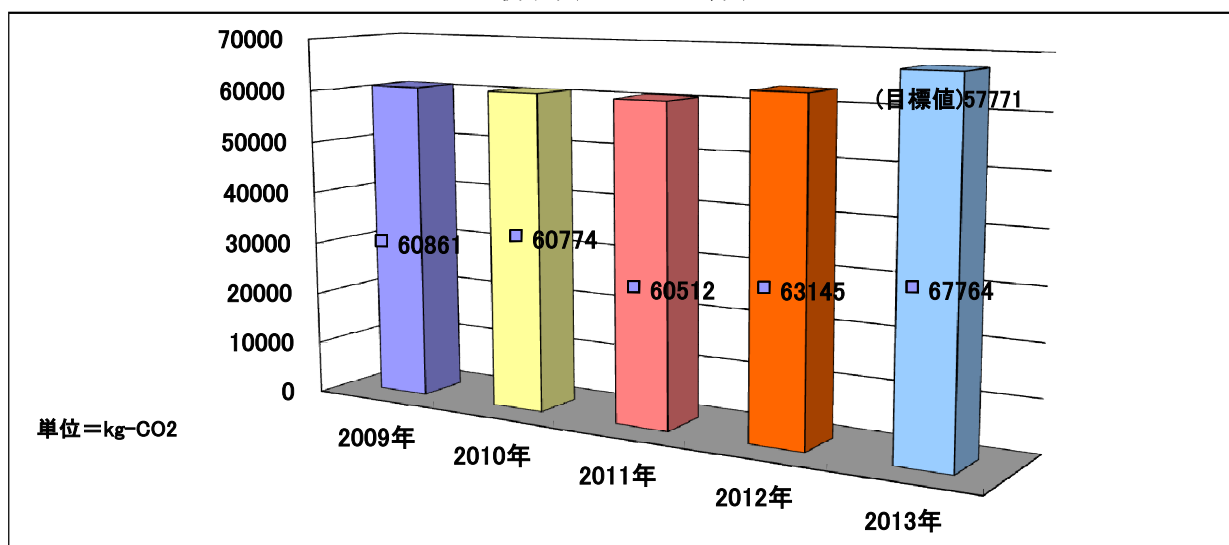
C02排出(廃棄物収集運搬業)



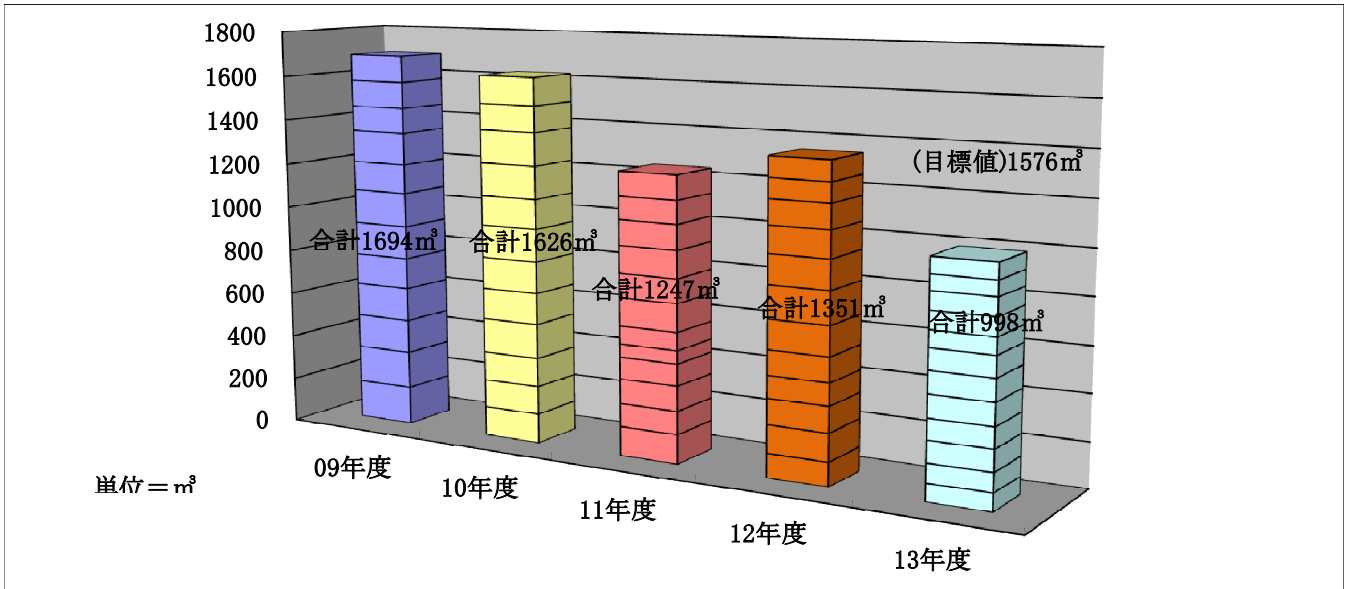
C02排出(建設業・清掃業)



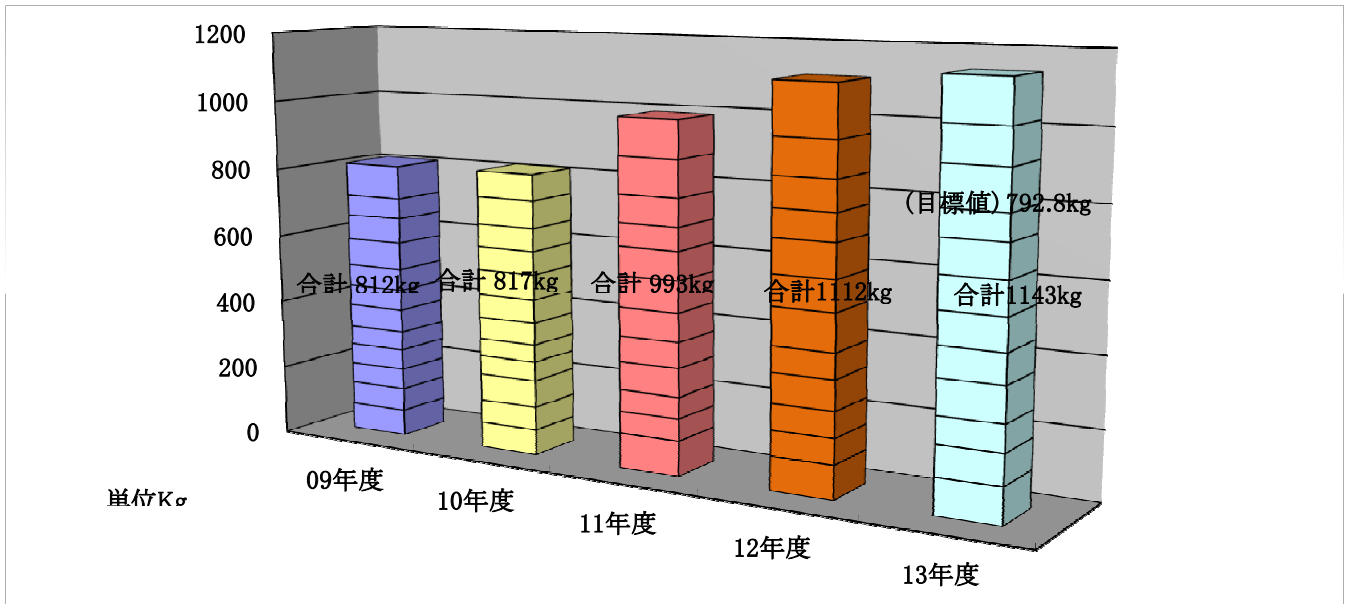
C02排出(サービス業)



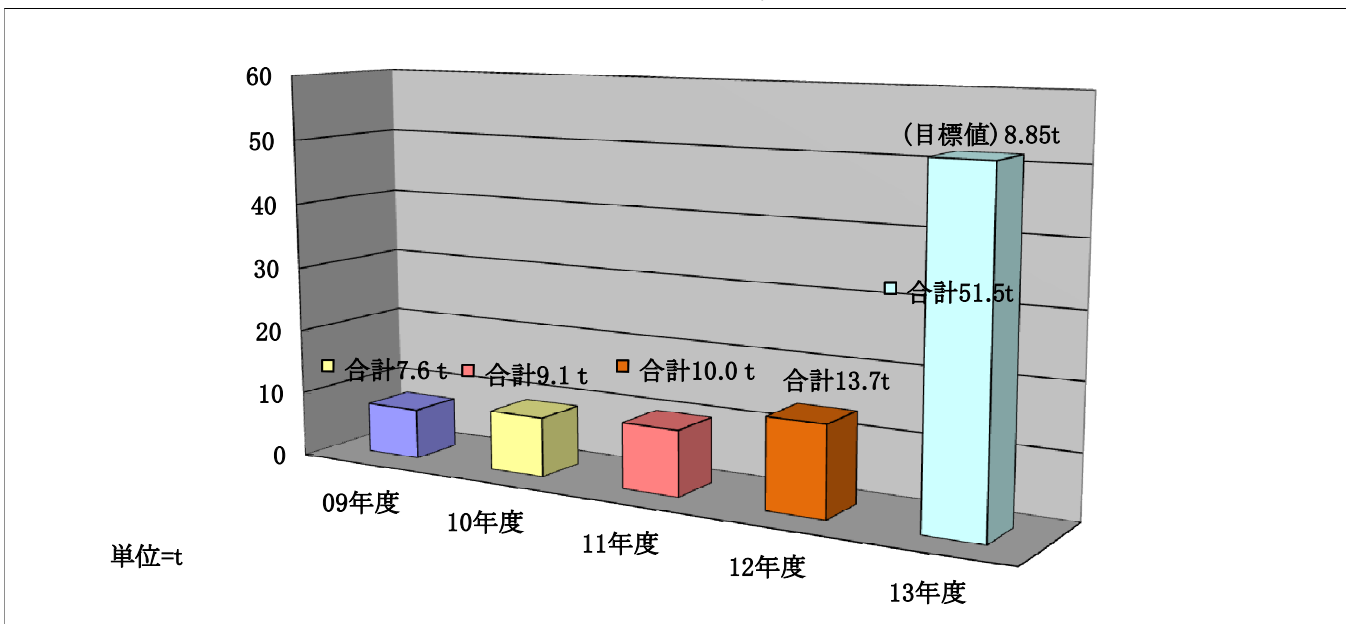
水道消費量



コピー紙消費量



自社からの廃棄物量



10) 環境目標

1. 二酸化炭素排出量の削減目標
2. 廃棄物排出量の削減目標
3. 総排水量の削減目標
4. コピー用紙使用量の削減目標
5. グリーン購入の目標
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮の目標

※2010年度より町田市の可燃ゴミ戸別収集業務(車輛10台追加)が加わったため、2010年度実績値を新たな基準値に設定しています。

※サービス業(町田市公共施設内業務)においては、市運営下のため、主管的な環境活動の取組は出来ず、移動用車両の燃料使用量削減

及びコピー用紙使用量削減に限り、当社環境活動の範囲としています。

1. 二酸化炭素排出量の削減目標

区分	基準値 kg-CO2	項目	2009年度	2010年度	2011年度 (目標) 基準値1%減	2012年度 (目標) 基準値2%減	2013年度		2014年度 (目標) 基準値4%減
		目標					(目標) 基準値3%減	評価	
二酸化炭素排出量の全体削減目標	393412	CO2排出量目標			389478	385544	381610	○	377676
		CO2排出量結果	323789	393412	352207	290387	298204		
		kg-CO2/百万	234.1	279.1	246.9	213.2	226.9		

廃棄物収集業部門【内訳】

※購入電力の排出係数は0.324(kg-CO2/kWh)

区分	項目		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度	
廃棄物収集業部門 (一課・二課・収集課)	電 力	消費目標kwh			46789.1	46316.5	45843.9	○	45371.3	
		結果	41744.3	47261.7	34138.4	33528.6	36505.0			
		C02換算目標			15158.9	15005.8	14852.6			14699.5
		結果	13525.2	15312.0	11060.8	10863.3	11827.6			
		kg-CO2/百万			63.2	62.5	61.9			61.3
		結果	56.4	63.8	48.0	57.5	66.1			
	灯 油	消費目標ℓ			1085.6	1074.6	1063.6	○	1052.7	
		結果	985.6	1096.5	914.1	653.3	770.0			
		C02換算目標			2705.2	2677.8	2650.5			2623.2
		結果	2456.1	2732.5	2278.0	1627.9	1918.8			
		kg-CO2/百万			11.3	11.2	11.0			10.9
		結果	10.2	11.4	9.9	8.6	10.7			
	L P G	消費目標kg			335.2	331.8	328.5	○	325.1	
		結果	337.8	338.6	272.3	237.5	212.0			
		C02換算目標			1006.3	996.2	986.0			975.8
		結果	1014.0	1016.5	817.6	713.0	636.4			
		kg-CO2/百万			4.2	4.2	4.1			4.1
		結果	4.2	4.2	3.5	3.8	3.6			
	ガソリン	消費目標ℓ			2513.6	2488.2	2462.8	○	2437.4	
		結果	0.0	2539.0	2456.0	1950.0	1889.0			
		C02換算目標			5835.7	5776.8	5717.8			5658.9
		結果	0.0	5894.7	5702.0	4527.2	4385.6			
		kg-CO2/百万			24.3	24.1	23.8			23.6
		結果	0.0	24.6	24.7	24.0	24.5			
	軽 油	消費目標ℓ			97668.7	96682.1	95695.6	○	94709.0	
		結果	71399.0	98655.3	88782.0	64509.0	63009.0			
		C02換算目標			256315.9	253726.8	251137.8			248548.7
		結果	187375.3	258904.9	232994.2	169293.6	165357.0			
kg-CO2/百万				1068.2	1057.4	1046.7			1035.9	
結果		781.6	1079.0	1010.5	896.0	923.8				
(計)	C02換算目標			281022.0	278183.8	275345.2	○	272506.6		
	結果	204370.0	283861.0	252852.5	187025.0	184125.4				
	kg-CO2/百万			1171.2	1159.4	1147.5			1135.7	
	結果	852.5	1183.0	1096.6	989.8	1028.6				

建設業及び清掃業部門【内訳】

※購入電力の排出係数は0.324 (kg-CO2/kWh)

区分	項目		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度	
建設業及び清掃業部門 (水理課・工事課)	電 力	消費目標kwh			18432.1	18245.9	18059.7	×	18059.7	
		結果	19964.7	18618.3	19507.6	23749.0	25857.0			
		C02換算目標			5972.0	5911.7	5851.4			5851.4
		結果	6468.6	6032.3	6320.5	7694.8	8377.7			
		kg-CO2/百万			12.2	12.1	12.0			12.0
		結果	14.0	12.3	12.3	15.6	22.2			
	灯 油	消費目標ℓ			427.7	423.3	419.0	×	419.0	
		結果	471.4	432.0	522.4	462.7	545.0			
		C02換算目標			1065.7	1054.9	1044.1			1044.1
		結果	1174.7	1076.4	1301.7	1153.0	1358.1			
		kg-CO2/百万			2.2	2.2	2.1			2.1
		結果	2.5	2.2	2.5	2.3	3.6			
	L P G	消費目標kg			132.1	130.7	129.4	×	129.4	
		結果	161.6	133.4	155.6	168.2	150.0			
		C02換算目標			396.4	392.4	388.4			388.4
		結果	485.0	400.4	467.2	505.1	450.3			
		kg-CO2/百万			0.8	0.8	0.8			0.8
		結果	1.1	0.8	0.9	1.0	1.2			
	ガソリン	消費目標ℓ			12527.9	12401.4	12274.8	○	12148.3	
		結果	15200.4	12654.4	10291.7	10273.6	11107.0			
		C02換算目標			29085.5	28791.7	28497.9			28204.1
		結果	35290.2	29379.3	23893.7	23851.8	25786.7			
		kg-CO2/百万			59.5	58.9	58.3			58.3
		結果	76.4	60.1	46.3	48.4	68.4			
	軽 油	消費目標ℓ			4484.7	4439.4	4394.1	○	4348.8	
		結果	5769.0	4530.0	2614.0	2672.0	3941.0			
		C02換算目標			11769.4	11650.5	11531.6			11412.7
		結果	15139.8	11888.3	6860.0	7012.2	10342.5			
kg-CO2/百万				24.1	23.8	23.6			23.6	
結果		32.8	24.3	13.3	14.2	27.4				
(計)	C02換算目標			48289.0	47801.2	47313.4	○	46825.7		
	結果	58558.2	48776.8	38843.1	40216.9	46315.3				
	kg-CO2/百万			98.8	97.8	96.8			96.8	
	結果	126.8	99.8	75.3	81.6	122.8				

サービス業部門【内訳】

区分	項目		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度
サービス業 (町田市公共施設内業務)	電 力	消費目標kwh							
		結果							
		C02換算目標							
		結果							
	灯 油	消費目標0							
		結果							
		C02換算目標							
		結果							
	L P G	消費目標kg							
		結果							
		C02換算目標							
		結果							
	ガソリン	消費目標0			2756.2	2728.3	2646.5	×	2646.5
		結果	2690.0	2784.0	2548.0	2892.0	3094.0		
		C02換算目標			6398.9	6334.2	6144.2		6144.2
		結果	6245.3	6463.5	5915.6	6714.2	7183.2		
	軽 油	消費目標0			20443.4	20236.9	19629.8	×	19629.8
		結果	20811.3	20649.9	20803.9	21503.0	23084.0		
		C02換算目標			53767.4	53224.3	51627.5		51627.5
		結果	54615.9	54310.5	54596.5	56431.2	60580.3		
	(計)	消費目標0						×	
		結果							
		C02換算目標			60166.0	59558.5	57771.7		57771.7
		結果	60861.2	60774.0	60512.1	63145.4	67763.5		
	kg-C02/百万			88.4	87.5	84.9	×	84.9	
	結果	89.3	89.3	89.0	92.9	89.4			

2. 廃棄物排出量の削減目標

1) 自社廃棄物の削減目標

区分		基準値 (t)	項目 目標	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度		2014年度
						基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減	評価	基準値4%減
自社廃棄物の削減目標	一般廃棄物	3.73	目標値			3.69	3.66	3.62	○	3.58
			実績値	3.15	3.73	3.13	3.18	2.60		
			一人当たり	0.09	0.08	0.07	0.08	0.06		
	産業廃棄物	5.39	目標値			5.34	5.28	5.23	×	5.23
			実績値	4.51	5.39	6.95	10.61	48.89		
			一人当たり	0.13	0.12	0.16	0.26	1.19		
内 訳	廃棄物収集業部門	一般廃棄物	目標値			2.65	2.63	2.60	○	2.57
			実績値	2.13	2.68	2.25	1.86	1.52		
		産業廃棄物	目標値			3.83	3.79	3.75	×	3.75
			実績値	3.05	3.87	4.99	6.21	28.60		
	建設業及び清掃業部門	一般廃棄物	目標値			1.04	1.03	1.02	×	1.02
			実績値	1.02	1.05	0.88	1.32	1.08		
		産業廃棄物	目標値			1.50	1.49	1.47	×	1.47
			実績値	1.46	1.52	1.96	4.40	20.29		

2) 建設副産物のリサイクル化

区分	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度
建設副産物の再資源化率	副産物量	2.1t	3.3t	15.3t	63.3t	8.44t	○	
	再資源化量			6.4t	0.0t	6.24t		
	目標(%)			50.0%	50.0%	55.0%		60.0%
	実績(%)			41.9%	0%	73.9%		
清掃副産物の再資源化率	副産物量					1055.2t	×	
	再資源化量					26.2t		
	目標(%)					5%		5%
	実績(%)					2.5%		

3. 総排水量の削減目標

区分	基準値 (m³)	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度		2014年度
					基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減	評価	基準値4%減
総排水量の削減目標	1625	目標値			1609	1593	1576	○	1560
		実績値	1761	1709	1289	1357	998		
		一人当たり	50	37	28	31	24		
内 訳	1166	目標値			1154	1143	1131	○	1119
		実績値	1146	1166	793	791	584		
内 訳	459	目標値			454	450	445	○	441
		実績値	615	543	496	566	414		

4. コピー用紙使用量の削減目標

区分	基準値 (kg)	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度		2014年度
					基準値1%減	基準値2%減	基準値3%減	評価	基準値3%減
コピー用紙使用量の削減目標	817.3	目標値			809.1	801.0	792.8	×	792.8
		実績値	812.4	817.3	993.2	1112.9	1143.9		
		kg/百万	1.70	0.58	0.70	0.82	0.87		
内 訳	548.3	目標値			542.8	537.3	531.9	×	531.9
		実績値	453.2	548.3	573.9	604.6	612.2		
		kg/百万	1.89	2.28	2.49	3.20	3.42		
	216.0	目標値			213.8	211.7	209.5	×	209.5
		実績値	216.7	216.0	327.9	428.3	433.7		
		kg/百万	0.47	0.44	0.64	0.87	0.55		
53.0	目標値			52.5	51.9	51.4	×	51.4	
	実績値	142.5	53.0	91.4	80.0	98.0			
	kg/百万	0.21	0.08	0.13	0.12	0.13			

5. グリーン購入の目標

グリーン購入法特定調達品目に基づき、購入する事務用品のグリーン購入を推進し、

2012年3月末までに、グリーン購入25品目以上を目標としています。事務用品以外についても可能な限り、グリーン購入を推進します。

区分	項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度
グリーン購入の目標(品目数)	目標率	60%以上	65%以上	70%以上	75%以上	×	75%以上
	調達品目数	30品目	21品目	23品目	25品目		
	うちグリーン購入 調達品目数	18品目	15品目	20品目	17品目		
	実績率	60%	71%	87%	68%		

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮の目標

環境配慮の目標	実績
エコドライブを励行する	エコドライブが徹底できた
バキューム車脱臭剤交換を確実に実施する	月1回確実に実施し、悪臭を防止できた
社屋周辺の清掃を日々行う	毎日実施し社屋周辺の美化に努めた
受託した廃棄物・建設副産物のリサイクル化	廃棄物種類で汚泥の割合が多いためリサイクル率としては上がらない状況

車輦燃費の監視

区分	項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度
車輦燃費の目標(全車輦平均燃費)	目標値	6.5km/ℓ	6.5km/ℓ	6.5km/ℓ	6.6km/ℓ	×	6.6km/ℓ
	実績値	6.08km/ℓ	6.29km/ℓ	6.23km/ℓ	4.31km/ℓ		

燃料1ℓ当たり収集運搬量の監視

区分	項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	評価	2014年度
燃料1ℓ当たり収集運搬量の目標	目標値	0.34t/ℓ	0.35t/ℓ	0.36t/ℓ	0.36t/ℓ	×	0.36t/ℓ
	実績値	0.34t/ℓ	0.35t/ℓ	0.33t/ℓ	0.32t/ℓ		

※化学物質使用量の管理及び生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組については、該当事項なし。

11) 活動写真

【エコドライブのすすめ】

毎朝出発前に、このシートを確認して、エコドライブの意識を高めています。

1	ふんわりアクセル (最初の5秒で時速20キロが目安、11%程度燃費が改善)
2	加減速の少ない運転 (同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費向上)
3	早めのアクセルオフ (エンジンブレーキを使うと、燃料カットで、2%程度燃費が改善)
4	エアコンの使用を控えめに (外気温25°Cの時にエアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化)
5	アイドリングストップ (10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を浪費)
6	暖機運転は適切に (5分間暖機すると、160cc程度の燃料を浪費)
7	タイヤの空気圧を適正に (適正値0.5kg/cm ² 不足で市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費悪)
8	綿密な計画で作業時間の効率アップ (作業効率をあげれば時間と燃料の節約)
この車輛の適正な空気圧	
前輪	5.00 kg
後輪	6.00 kg
エンジンオイル交換時期	
走行距離 2,000km 間隔	
(満たない場合 1年に1回)	

【節電の徹底】

エアコンスイッチに冷暖房設定温度を表示し、節電の意識を高めています。



【節水の徹底】

節水グッズをセットしたことで、水道使用量の削減に大きな成果ができました。



【用紙の分別】

用紙の分別回収ボックスを設置したことで、用紙裏面使用が徹底できました。



【近隣地域コミュニケーション】

社屋周辺の歩道や駐車場周辺の清掃をこまめに行い、近隣住民の方々に迷惑をかけないように心がけています。夏は周辺草むしりも積極的に行い、近隣美化に努めています。



12)2013年度環境活動の評価結果と次年度の取組内容

【廃棄物収集運搬部門】

区分	環境活動計画	25年度活動評価	次年度の取組内容
車輛の適正運転と管理	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)	○	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)
	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施	○	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施
廃棄物の管理	リサイクル促進のため、排出事業者に対してリフレット配布し適正処理及び分別について啓発する	○	リサイクル促進のため、排出事業者に対してリフレット配布し適正処理及び分別について啓発する
	紙類・ビン・缶・ペットボトル等の分別により、自社発生廃棄物の再資源化を強化する	○	紙類・ビン・缶・ペットボトル等の分別により、自社発生廃棄物の再資源化を強化する
	環境保全のため、車庫の内外を整理整頓し、清潔に保つ	○	コアレス(芯無し)トイレトペーパーを使用する
			使い捨て割りばしの利用をやめ、ごみを減らす
排水管理	洗車場排水ビットのストレーナー清掃を毎日行い、異物の流出防止に努める	○	洗車場排水ビットのストレーナー清掃を毎日行い、異物の流出防止に努める
環境法規制の遵守	法規制および契約事項の遵守	○	法規制および契約事項の遵守
節水の推進	社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時は節水を励行する	○	社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時は節水を励行する
社会貢献			災害協定(し尿収集)を結んだ企業として災害に備えた体制をより充実させる

【建設業・清掃業部門】

車輛燃料の管理	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)	○	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)
	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施	○	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施
建設副産物リサイクル化	副産物の再資源化を強化する	○	副産物の再資源化を強化する
環境法規制の遵守	法規制および契約事項の遵守	○	法規制および契約事項の遵守
節水の推進	社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時は節水を励行する	○	社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時は節水を励行する

【サービス業部門】

車輛燃料の管理	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)	○	エコドライブの実践(空ぶかし、急発進、急加速運転等の削減)
	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施	○	日々の始業点検・定期点検の実施、適切な周期で車輛のオイル交換実施
環境法規制の遵守	法規制および契約事項の遵守	○	法規制および契約事項の遵守
電力消費量の削減	施設内の不要な照明を消灯する	○	施設内の不要な照明を消灯する
節水の推進	洗い物、手洗い時など日常的に節水を励行	○	洗い物、手洗い時など日常的に節水を励行
省資源			使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用する

【その他オフィスにおける共通の取組】

電力消費量の削減	エアコン温度設定厳守(冷房28℃暖房21℃)	○	エアコン温度設定厳守(冷房28℃暖房21℃)
	空調フィルターの定期的(月1回)清掃を行い、エネルギー損失を防ぐ	○	空調フィルターの定期的(月1回)清掃を行い、エネルギー損失を防ぐ
	ブラインドやカーテンの利用等により熱の出入りを調節する	○	ブラインドやカーテンの利用等により熱の出入りを調節する
	昼間の太陽光の利用により、極力消灯に努める	○	昼間の太陽光の利用により、極力消灯に努める
	残業に不要な照明を消灯する	○	残業に不要な照明を消灯する
	本社最大消費電力量(デマンド計)を監視する	○	本社最大消費電力量(デマンド計)を監視する
灯油・ガス消費量の削減	給湯器使用後は停止し、ガス節約に努める	○	給湯器使用後は停止し、ガス節約に努める
節水の推進	洗濯時の節水に努める	○	洗濯時の節水に努める
グリーン商品の購入	環境配慮のため、グリーン購入法特定調達品目ガイドを参照し、グリーン購入を推進する	○	環境配慮のため、グリーン購入法特定調達品目ガイドを参照し、グリーン購入を推進する
その他	決裁書や報告書の複写の保存を最小限に抑える	×	決裁書や報告書の複写の保存を最小限に抑える
	会議資料は必要以上に印刷しない	×	会議資料は必要以上に印刷しない
	マイカー通勤の抑制を推進する	○	マイカー通勤の抑制を推進する
	社屋周辺の道路・歩道等を毎日清掃し、近隣地域の美化に努める	○	社屋周辺の道路・歩道等を毎日清掃し、近隣地域の美化に努める

判定：○確実に実行している △ほぼ実行している ×あまり実行されていない

13) 代表者による全体の評価・見直し

作成日	平成26年6月10日
作成者	永田

見直し項目	見直し資料	環境管理責任者報告
① 環境目標の達成状況	環境活動実績記録	<p>【二酸化炭素総排出量の削減】 二酸化炭素排出量は前年度比(2.69%)増となった。従業員の節電意識は低くはないですが、猛暑寒冬の影響を受け電力消費量昨年度比較+5084kw(+8.88%)となったことが大きな原因となりました。</p> <p>【自社発生廃棄物の排出量の削減】 産業廃棄物は汚泥排出量が増えたことにより前年度10.61tに対し、今年度は48.89tと増加したが、一般廃棄物は社内での紙類・ビン・缶・ペットボトル等分別の取組は徹底され、減量もできた。</p> <p>【総排水量の削減】 洗車時の節水効果により、水道使用量(998m3)で、前年度実績(1351m3)に比べ-359m3削減できた。</p> <p>【コピー用紙使用量の削減】 コピー用紙使用量は、2年連続増加している。個人情報保護のため用紙の裏面使用に制限が掛かっていることもあるが、会議資料で必要以上の印刷をしている様である。今後工夫し削減に努めたい。</p> <p>【グリーン購入】 事務用品の調達25品目中、うちグリーン購入調達品目数は17品目(68%)の結果で、目標の75%には至らなかった。</p>
② 環境活動計画取組の達成状況	環境活動計画と評価	<p>【効果的だった取組】 ・マイカー通勤の抑制は、昨年度は6名、今年度は4名がマイカー通勤から公共交通機関に変更。 ・同じ火力でも効率の良いガスコンロへの交換(環境管理委員会改善のための提案事項)</p> <p>【課題の残った取組】 ・コピー用紙使用量の削減の取組</p>
③ 環境関連法規制の遵守状況	環境関連法規制一覧表	環境関連法規制の訴訟・違反はなし。
④ 緊急事態処置及び教育訓練の結果	緊急事態処置報告書 緊急事態訓練報告書	<p>【緊急事態処置報告書より】 緊急事態の発生はなし。 【緊急事態訓練報告書より】 本社、成瀬クリーンセンター、鶴見川クリーンセンター、浄化センター共に緊急事態訓練を(計8件)実施した。今後も訓練を重ね緊急事態発生時に即対応出来る様教育する。</p>
⑤ 内部監査の結果	内部監査報告書	インタビューの結果、全般に従業員の環境保全意識は高いと言えますが、建設業・清掃業においてコピー用紙無駄印刷の意識が低下している様です。
⑥ 是正処置の結果	是正計画・処置報告書	<p>25.6.16是正計画・処置報告書発行 以下の是正指示内容に対して効果確認を実施した。 ①引き続き環境保全のためマイカー通勤の抑制に努める→現在69名(56%)が公共交通機関を利用しているが、更にマイカー通勤の抑制に努める ②自社ゴミ並びに建設業副産物の再資源化への取組を検討すること→自社ゴミはしっかり区分されていますので特に改善の必要性はなし。また建設業副産物については関連部署である工事課・水理課と再資源化への取組について検討し改善に努めることとなりました。</p>
⑦ 外部コミュニケーションからの情報	苦情・要望・評価等 受付票兼記録	今回、苦情要望評価等の該当事項はなし
⑧ 改善のための提案	環境管理委員会議事録	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留タンクの設置活用を推奨します。 ・生ゴミ減量するために生ゴミ処理機を購入し活用を推奨します。

代表者による評価及び見直しの決定

- ・次年度以下の取り組みを重点として行うこと。
- ①引き続き環境保全のためマイカー通勤の抑制に努めること。
- ②コピー用紙使用量の削減に努めること。

代表取締役

菅原久仁夫

14) 環境関連法規への違反訴訟等の有無

2013年度(2013年4月～2014年3月)環境関連法規制の遵法状況をチェックした結果、
また、過去3年間違反・訴訟及び官公庁等関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。